

9月16日（月）

素 晴 ら し い 自 然

聖書朗読 詩篇 19:1～6

神のなさることは、すべて時にかなって美しい。神はまた、人の心に永遠を与えられた。しかし人は、神が行なわれるみわざを、初めから終わりまで見きわめることができない。
伝道の書 3:11

北東部地方に旅行に行ったとき、私たちのお父様がお造りになられた自然の素晴らしさを私は改めて実感しました。詩篇 19:1 で作者が宣言していることは本当でした。『天は神の栄光を語り告げ、大空は御手のわざを告げ知らせる。』 旅行中に経験した魚釣り、ハンティング、そして、ただ自然の中を歩く。全てを私は楽しみました。

鳥、小川、花から遠ざかって部屋にばかりいる日々を過ごしていたあるライターは、我々の文化では、つまらないことが増え、希望を見出せなくなっていることを悟りました。またある女性は、森で迷った時、その迷った意味を知りました、彼女は迷いながら、神の恵みについて考え、そして祈りました。すると彼女の抱えていた憂鬱な気持ちと失望が消えたと言いました。

ハイキングをしたり、我が国の整備された交通網を使えば、私たちは神がお造りになられた様々な美しいもの全て、見事な木、山、湖、星を見ることができます。あなたは最近歩きましたか？ 鳥たちや、歩道を渡っているアリたちに気が付きましたか？

エレクトロニクス時代はたくさんの利益をもたらしましたが、カウチポテト族もまた生み出しました。さあ、起きて、外に出ましょう！ そして神の偉大な創造物を楽しみましょう！

讃美歌 17

祈 り 親愛なる主。私たちはあなた様のお造りになった物を畏れます。それに感謝し、賢く使うことができるようお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

デール・フォスター
テキサス州 サイプレス

今日の力

2013年9月16日～9月22日

翻訳 阿部やよい

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

9月17日(火)

主 だ け が 私 の 望 み

聖書朗読 詩篇 23 編

わたしは良い牧者です。わたしはわたしのものを知っています。また、わたしのものは、わたしを知っています。
ヨハネ 10:14

都市で暮らしている私たちは、息子を連れて友人の農場を訪れました。息子は羊などの動物たちとふれあうのを楽しみにしていました。私たちが牧場に着くと、牧場主は羊が放牧されている少し離れた牧場のゲートに私たちを案内しました。

羊飼(牧場主)は私たちに羊をゲートに呼び寄せるよう言いました。彼は手で形を作ってそれを口に当て、羊たちを呼ぶ言葉を私たちに教えてくれました。私たちは一人ずつチャレンジしてみましたが、羊たちは頭をあげ、私たちを見て、そして頭を下げ、草を食べ続けました。私たちが呼んでも羊たちは1cmたりとも動いてはくれませんでした。羊飼いは手で形を作って声を出し、羊たちを呼びました。羊たちはすぐに食べるのをやめ、ゲートに向かって走ってきました。羊たちは羊飼いの声を知っているのです。多くの時間を一緒に過ごした羊飼いの声を、羊たちは知っていたのです。

この世界では、多くの声が私たちを呼んでいます。私たちは神の声を知っているのでしょうか？ 私たちは主を知っているのでしょうか？ 詩篇23編の代名詞に注目してみましょう。全ての行いで、羊飼いと羊の強く、個人的で、親密な関係を暗示しています。人生において、これはもっとも重要な関係となります。

ある小さな女の子は詩篇23編の最初の行を間違えて覚えていました。『主は私の羊飼。主だけが私の望み。』 実際のところ、彼女は間違っていない！

讃美歌 第二編 41

祈り 親愛なる主。今日あなた様の声を聞き、知り、そして従うことができますように。あなた様が、あなた様の羊を導き、守り、愛し、誠実である良き羊飼であることに心より感謝いたします。

イエス様の御名前によって。アーメン。

サリー・J・シャンク
ウェストバージニア州 ヴィエナ

9月18日(水)

誠 実 で あ る こ と

聖書朗読 詩篇 26 編

あなたの救いの喜びを、私に返し、喜んで仕える霊が、私をささえますように。
詩篇 51:12

私は、自宅のあるロサンゼルスから、会社のあるマリブまでの50km弱の道のりを毎日通っていました。会社から10kmほどのところにガソリンスタンドがあり、そこでよく給油をしていました。そのガソリンスタンドの店員は愛想が悪く、彼は私の顔をみることなく私からお金を受け取り、まるで私が子どもであるかのような、雑な接客をしてくれます。そんなガソリンスタンドでも、とても便利な場所にあったので、私は通い続けました。

ある日、店員が私にお釣りを多く渡してしまったのです。車に戻ってすぐに私はそのことに気がついたのですが、予定があり、それに遅れていたことと、あの店員の接客態度を思い出して、私は忘れることにしました。結局彼が間違えたのは1ドルにも満たない金額でしたが、ずっと忘れられないまま心に引っかかっていました。

この私の不誠実な心が私を悩ませました。なので次にガソリンスタンドを通りかかった時、なんとかしなければと思い、ガソリンを入れる必要はなかったのですが、ガソリンスタンドに入りました。そして店員のところへ真つすぐ向かい、言いました。「前に来たとき、お釣りを多くもらったみたいだったから、返しに来ました」。最初は、彼はお釣りが足りなかったために私が文句を言いに来たかと思ったらしく、顔をしかめ言い返してきました。しかし、私が彼にお金を返すと、彼は気がついたようで、笑い、そしてお金を受け取りました。

讃美歌 第二編 3

祈り お父様。私たちは常に、正しいことを、正しい理由で、正しいやり方で、正しい時に行えますようお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

カルビン・H・ボワース
カリフォルニア州 ロサンゼルス

9月19日(木)

立て直すために壊す

聖書朗読 詩篇 51:1~13

神へのいけにえは、砕かれた霊。砕かれた、悔いた心。神よ。あなたは、それをさげすまれません。
詩篇 51:17

ダンは成功することを夢見て、彼の建築業者としてのキャリアを始めました。彼は来る日も来る日も一生懸命働き、利益を事業に再投資していき、アメリカンドリームを実現させました。しかし、その成功は彼に何をもたらしたと思いますか？ 何もありませんでした。むしろ、その後彼は3度の倒産、そして離婚を経験しました。彼は壊しもしたし、壊されもしました。しかし、ダンはクリスチアンの家庭で育ったため、「上手いかなかった」と現実を素直に受け止めました。

ある日、彼は聖書のマタイの福音書6:33『神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。』を開きました。ダンは新たなスタートを切りました。彼は、手ごろな料金で家を建てるスペシャリストになっていた息子と一緒に働き始めました。このときのダンは昔のダンと大きく変わっていました。ダンは霊的に大きく変わっていました。ダンと息子は、利益の10%を御国の建設に使うことを主に約束しました。個人献金を超えた、会社での十分の一献金です。20年の歳月の間に、会社は4000件の家を建てました。ダンにとってとにかく重要なことは、前年度会社は9億円ものお金を世界中の宣教師たちに送ったことでした。

ダンは良くなるために一度壊されました。『主は心の打ち砕かれた者の近くにおられ、霊の砕かれた者を救われる。』(詩篇34:18)。この約束は真実です。あなたは打ち砕かれましたか？ 私たちの主は再建者です。

讃美歌 第二編 188

祈り 御国のお父様。イエス様の御名によって、御国のために、私たちの身に起きる破壊を勇気に変えてください。本当に大切なものを分かち合うためにあなた様の魂によって私に力をお与えください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ボブ・マイズ
テキサス州 ラボック

9月20日(金)

地球最後の日

聖書朗読 詩篇 57編

神よ。あなたが、天であがめられ、あなたの栄光が、全世界であがめられますように。
詩篇 57:5, 11

詩篇57編では、二つの世界(二つの現実)が衝突していました。一つは、詩篇の作者が陥った厳しく辛い世界。人々は彼を踏みつけ(3節)、貪欲な獅子が彼を食い食い(4節)、彼らは私の足をねらって網を仕掛けます(6節)。とても困難で、冷たい世界です。どこかで聞いたことはありませんか？

しかし、もう一つ、同じように現実の世界があります。それは、いと高き御方、神が不動の愛とまことで治められている世界(3, 10節)。この神に対して、詩篇の作者は全幅の信頼を声高に訴えています。作者は痛みや恐怖を拒むことなく、全てに勝る、そして親身になってくださる神を声高に褒め称えます。

詩篇の作者の言葉は、虚勢を張っているわけではなく、それは服従の言葉です。そのかわり、作者は、私のためにすべてを成し遂げてくださる(2節)、天からの送りで、私を救われる(3節)神の御手に自身をゆだねました。作者は神が応えてくださることを確信して、救いが訪れる前でさえも、声高に神を賛美しました。『あなたの栄光が、全世界であがめられますように。』(5, 11節)。普遍的な賛美の叫びであり、目をさますほどの大きな叫びであり(8節)、私たちが言う「アーメン」と同じです。

讃美歌 22

祈り 皆が、あなた様、全能の神を賛美しますように。あなた様の完全なる掟が全世界に知れ渡り、私たちの心奥深くまで浸透しますように。

御子の御名によって。アーメン。

ポール・ワトソン
ノースカリフォルニア州 ダラム

9月21日（土）

悪を選ぶ自由

聖書朗読 詩篇 62 編

神は、一度告げられた。二度、私はそれを聞いた。力は、神のものであることを。
主よ。恵みも、あなたのものです。あなたは、そのしわざに応じて、人に報いられます。
詩篇 62:11～12

私は子どものころ、第二次世界大戦中に陸軍に所属していた父と叔父の命を脅かしている戦争のことをいつも考えていました。ニュース映画を見た後はいつも、ヒトラーやムッソリーニといった怪物に、どうしようもない不安を感じ、布団をかぶって寝ていました。神様は強い御方であることは聖書クラスで聞いて知っていました。神はゴリアテを打ち負かせるようダビデをお助けにならなかったのでしょうか？ 神殿を破壊するためにサムソンをお助けにならなかったのでしょうか？ 愛情あふれる神がどうしたらあのような残忍な行為を許したのでしょうか？

質問はまだまた続きます。しかし、神を深く知れば知るほど、神の最も大きな愛が見えるようになります。それはイエス様が私たちの罪を分かち合うだけでなく、いかなる罪も全て背負うことをお選びになられて架かられた十字架に、その愛を見ることができます。イエス様は彼らが（私たちが）罪を犯さない人間になるようにすることもできたのに、イエス様は私たちの罪が赦されるために、死ぬことを選ばれました。私たちの魂は、選ぶ自由を与え続けてくださっている、強く愛にあふれた神の内に真の錨を見つけることができます。

讃美歌 第二編 9

祈り 親愛なるお父様。私たちを自由に道徳的な選択をする存在としてくださったにもかかわらず、間違いを起こした時にお赦しくくださいます、心より感謝いたします。あなた様の強さだけでなく愛がなければ私たちは何一つできません。

赦しの象徴である御方の御名によって。アーメン。

カイ・バーナン・エバンス
テキサス州 ラボック

9月22日（日）

家のような場所は他にない

聖書朗読 詩篇 84:1～12

まことに、あなたの大庭にいる一日は千日にまします。私は悪の天幕に住むよりはむしろ神の宮の門口に立ちたいのです。
詩篇 84:10

私たちは皆、素敵な場所に住みたいと思っています。私たちだけの場所です。会社での大変な一日を終えた後に帰る場所です。私たちはリラックスして、休んで、回復する場所が欲しいのです。

詩篇の作者は、住むのに最適な場所は、主がおられる場所なら、どこでもと信じています。神の居所とは、人間だけにとって最高の場所だけではなく、全ての被造物にとって究極の住居でもあるのです！ 主と共にいる全ての人、全ての物が祝福されているのです。作者は、ただ頭の上に屋根があればいいというわけではないことも知っています。神を知らない人たちと贅沢三昧に暮らすよりは、神の家を覗きながら外にいる方がいいということです。ありがたいことに、この今、私たちのための場所を用意してくださっている御方がいます。そして、そこはなんと素晴らしい所なのでしょう！

絶えず永遠の世界を待ち望むことは、ある種の現実逃避ではなく、希望的観測でもなく、クリスチャンがするべき行いの一つである。それは、現代世界をそのままにしておくという意味ではない。歴史を読めば、次の世界のことを誰よりも考えていたクリスチャンは、現世界のためにベストを尽くした人々でもあったことがわかる。

———— C・S・ルイス

讃美歌 第二編 82

祈り 親愛なる主。私たちだけでなく、被造物全てを気にかけてくださり感謝いたします。お目にかかる日を心待ちにしています。

イエス様の御名によって。アーメン。

ウェズ・ホーン
テキサス州 スタムフォード